

滋賀県基本構想の実施状況(案)について (滋賀県基本構想の進行管理)

1 目的

「滋賀県基本構想」に基づく施策について、昨年度の実施状況を把握するとともに、社会経済情勢の変化等も踏まえながら、今後の課題を抽出することにより、今年度の施策の一層の効果的な展開と、次年度の施策構築に的確につなげ、基本構想の着実な推進を図ることを目的とする。

2 進行管理の方法

基本構想実施計画で定める政策の目標について評価、課題、今後の対応等をまとめ進捗状況を把握する。また、基本構想の指標(モニタリング指標)一覧により、県の状況を把握する。

3 スケジュール

基本構想審議会や県議会9月定例会議等で報告し、意見を聴きながら、次年度の施策構築につなげることとする。

令和3年7月9日	県政経営幹事会議
7月13日	県政経営会議
8月6日	滋賀県基本構想審議会
9月	県議会9月定例会議 (決算特別委員会において審議)

4 資料

- 資料1 滋賀県基本構想の実施状況(案)
- 資料2 滋賀県基本構想実施計画進捗状況(案)

基本構想進行管理

1 2020年度における基本構想の進捗状況の概要

基本構想に基づく県の取組を着実に進める上で必要な主要政策を実施計画に定め、18の政策ごとに計91の目標を設定している。91の目標のうち、2022年度目標に対する達成率で評価するものが82、各年度における「達成」、「未達成」で評価するものが9つとなっている。

基本構想2年目である2020年度においては、2022年度目標に対する達成率で評価する82の目標について、22の目標で達成率が100%以上（進捗度★★★★）、4つの目標で達成率が75%以上100%未満（進捗度★★★）、12の目標で達成率が50%以上75%未満（進捗度★★）、14の目標で達成率が25%以上50%未満（進捗度★）、17の目標で達成率が25%未満（進捗度星なし）、未集計が13（調査未実施の8つを含む）という結果となった。38の目標で2年目の目安である達成率50%以上となる一方で、残りの31の目標（全体の44.9%（未集計の14件を除く。））で達成率が50%未満となっている状況である。

また、各年度における「達成」、「未達成」で評価する9つの目標については、「達成」が2つ、「未達成」が7つとなった。

また、実施計画に掲げる政策ごとの目標の達成に向けて行う主な事業ごとの「事業目標」については、55の目標を達成（全体の55.6%（未集計の9件を除く。））している。

今後は、こうした「実施計画に掲げる政策ごとの目標」やその達成に向けて行う主な事業ごとの「事業目標」の結果、外部環境の変化等を踏まえながら、課題を抽出することにより、今年度の施策の一層の効果的な展開と、次年度の施策構築に的確につなげていくことが必要である。

特に、新型コロナウイルス感染症の拡大は、医療現場や経済活動への影響だけでなく、新たな生活様式や価値観の広がり、自然環境に対する意識の高まりなど、様々な外部環境の変化をもたらしている。

昨年度の進捗状況をみると、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受け、事業および政策の目標値を下回るものも複数見られた。一方で、一部の事業ではICTを活用することにより、目標を達成したものもあった。今後は、その他の事業でも既存の取組の見直しやICT活用を含む新たな手法の活用など、コロナ危機を乗り越えていくための対応を進め、「変わる滋賀 続く幸せ」を基本理念とする基本構想で描く2030年の姿の実現に向けた取組を進めていく。

なお、基本構想の目指す姿に向け、県の状況を把握するため108の指標を設定しており、その状況は「IV 滋賀県基本構想の指標に基づく状況把握（モニタリング）」のとおりであった。指標については、経年変化を見ていく必要があることから、今後その推移を把握していく。

2 実施計画に掲げる政策ごとの目標 2020年度における達成状況の概要

政 策		目標数 (※1)	2022年度目標に対する達成率で評価するもの						達成・未達成 で評価するもの		
			達成率						達成	未達成	
			25% 未満	25~ 50%未満	50~ 75%未満	75~ 100%未 満	100% 以上	未集計			
	★	★★	★★★	★★★★	—						
1 人	政策(1)	生涯を通じた健康づくり	4	0	2 (2)	0	0	0	0	1	1
	政策(2)	本人の暮らしを真ん中においた医療福祉の推進	5	0	1 (1)	0	0	2 (2)	0	1	1
	政策(3)	文化やスポーツを通じた元気な地域づくり	8	4	2	0	0	2	0	0	0
	政策(4)	子どもを安心して生み育て、子どもの健やかな育ちを支える社会づくり	4	1	0	1	1	1	0	0	0
	政策(5)	子どもがたくましくしなやかに生きる力を身に付けるための教育	14	0	1	0	0	4	9	0	0
	政策(6)	誰もが働き、活躍できる柔軟で多様なライフコース	4	1	1	1	0	0	0	0	1
2 経済	政策(1)	成長市場・分野を意識した産業創出・転換	4	2	0	1	1	0	0	0	0
	政策(2)	人材の確保と経営の強化	3	0	1	0	0	2	0	0	0
	政策(3)	生産性の向上や高付加価値化等による力強い農林水産業の確立	7 (※2)	1 (1)	1 (1)	3	0	1	1	0	0
3 社会	政策(1)	生活や産業を支える強靱な社会インフラの整備、維持管理	6	0	2	1	2 (1)	1	0	0	0
	政策(2)	コンパクトで移動や交流しやすい交通まちづくり	3	1 (1)	0	1	0	1 (1)	0	0	0
	政策(3)	暮らしを支える地域づくり	4	1	0	1	0	1	0	0	1
	政策(4)	安全・安心の地域づくり	7	1	2	1	0	1	0	0	2
	政策(5)	農山漁村の持つ多面的価値の次世代への継承	4	1	0	1	0	2	0	0	0
	政策(6)	多様性を認め、互いに支え合う共生社会の実現	4	1	0	0	0	2	1	0	0
4 環境	政策(1)	琵琶湖をとりまく環境の保全再生と自然の恵みの活用	4 (※2)	2	0	1	0	0	0	0	1
	政策(2)	気候変動への対応と環境負荷の低減	3	0	0	0	0	1 (1)	2	0	0
	政策(3)	持続可能な社会を支える学びと暮らしの定着、国際的な協調と協力	3	1	1	0	0	1	0	0	0
2020年度計			91	17 (2)	14 (4)	12	4 (1)	22 (4)	13	2	7

※1 実施計画では、18の政策ごとに計80（重複1含む）の目標を掲げているが、進捗状況の把握に当たっては、細区分化した91（重複1含む）の目標により算出している。

※2 重複目標（県産材の素材生産量）

※3 2019年度以前の実績値を用いて、2021年度以前の目標値に対する達成率を算出しているものについては内数として括弧書きで各評価区分に計上している。

3 実施計画に掲げる政策ごとの目標の達成に向けて行う主な事業

2020年度事業目標の進捗状況の概要

○評価の考え方について

A：年度目標達成 B：年度目標未達成 N：未集計

政策／施策の展開		事業数	2020 目標数	評 価		
				A	B	N
1 人	政策(1) 生涯を通じた健康づくり	4	4	2 (1)	2 (1)	0
	施策の展開① 健康増進に向けたいきいきとした暮らしの推進	2	2	1	1	0
	施策の展開② 病気の予防と健康管理の充実	2	2	1 (1)	1 (1)	0
	政策(2) 本人の暮らしを真ん中においた医療福祉の推進	6	9	7	2	0
	施策の展開① 効率的かつ質の高い医療提供体制の構築	2	2	2	0	0
	施策の展開② 高齢者の暮らしを支える体制づくり	2	3	2	1	0
	施策の展開③ 滋賀の医療福祉を支える人材の確保・定着・育成	2	4	3	1	0
	政策(3) 文化やスポーツを通じた元気な地域づくり	3	3	3	0	0
	施策の展開① スポーツで元気な地域づくり	2	2	2	0	0
	施策の展開② 文化力を高め、発信することによる元気な地域づくり	1	1	1	0	0
	政策(4) 子どもを安心して生み育て、子どもの健やかな育ちを支える社会づくり	6	6	3	3	0
	施策の展開① 子どもを生み育てやすい環境づくり	2	2	1	1	0
	施策の展開② 子ども・若者を社会全体で応援	2	2	1	1	0
	施策の展開③ 困難な課題を有する子ども・若者を支える	2	2	1	1	0
	政策(5) 子どもがたくましくしなやかに生きる力を身に付けるための教育	5	7	1	2	4
	施策の展開① 子ども一人ひとりの個性を大切に、生きる力を育む	5	7	1	2	4
	政策(6) 誰もが働き、活躍できる柔軟で多様なライフコース	4	5	1	3	1
	施策の展開① 誰もが活躍できる多様な働き方の推進	2	3	1	2	0
施策の展開② 学び直しや再挑戦しやすい環境づくり	2	2	0	1	1	
2 経済	政策(1) 成長市場・分野を意識した産業創出・転換	4	4	3	1	0
	施策の展開① 先端技術等を活用した新たな市場展開や交流によるイノベーションの創出	2	2	2	0	0
	施策の展開② 滋賀ならではの特色を活かした観光の創造	2	2	1	1	0
	政策(2) 人材確保と経営の強化	4	5	3	2	0
	施策の展開① 人材の確保・定着	2	3	3	0	0
	施策の展開② 経営の強化・事業承継	2	2	0	2	0
	政策(3) 生産性の向上や高付加価値化等による力強い農林水産業の確立	8	10	5	2 (2)	3
	施策の展開① 担い手の確保・育成と経営体質の強化	2	2	2	0	0
	施策の展開② マーケットインの視点による農林水産業の展開	3	5	0	2 (2)	3
施策の展開③ 農林水産物のブランド力向上	3	3	3	0	0	

政策／施策の展開		事業数	2019 目標数	評 価		
				A	B	N
3 社会	政策(1) 生活や産業を支える強靱な社会インフラの整備、維持管理	7	7	6	1	0
	施策の展開① 生活や産業を支える強靱な社会インフラの整備、維持管理	5	5	5	0	0
	施策の展開② 超スマート社会を支える環境づくり	2	2	1	1	0
	政策(2) コンパクトで移動や交流しやすい交通まちづくり	4	4	4	0	0
	施策の展開① 暮らしやすいコンパクトなまちづくり	2	2	2	0	0
	施策の展開② 地域を支える新たな公共交通の仕組みづくり	2	2	2	0	0
	政策(3) 暮らしを支える地域づくり	4	4	2	2	0
	施策の展開① 地域コミュニティを支える人材の育成等	2	2	0	2	0
	施策の展開② 地域コミュニティの維持・活性化に向けた移住促進と空き家の発生予防、利活用の促進	2	2	2	0	0
	政策(4) 安全・安心の地域づくり	6	7	4	3	0
	施策の展開① 災害に強い地域づくり	3	3	1	2	0
	施策の展開② 犯罪の少ない安全・安心な地域づくり	1	2	1	1	0
	施策の展開③ 交通事故の少ない安全・安心な地域づくり	2	2	2	0	0
	政策(5) 農山漁村の持つ多面的価値の次世代への継承	3	3	2	1	0
	施策の展開① 農山漁村の持つ多面的価値の次世代への継承	3	3	2	1	0
政策(6) 多様性を認め、互いに支え合う共生社会の実現	2	2	1	1	0	
施策の展開① 誰もがその人らしく、居場所があり活躍できる共生社会の実現	2	2	1	1	0	
4 環境	政策(1) 琵琶湖をとりまく環境の保全再生と自然の恵みの活用	8	9	3	5	1
	施策の展開① 琵琶湖の保全再生と活用	4	5	3	2	0
	施策の展開② 生物多様性の確保、森林の多様な機能の発揮	4	4	0	3	1
	政策(2) 気候変動への対応と環境負荷の低減	4	5	3	2	0
	施策の展開① 気候変動への対応	2	2	1	1	0
	施策の展開② 環境負荷の低減	2	3	2	1	0
	政策(3) 持続可能な社会を支える学びと暮らしの定着、国際的な協調と協力	5	5	2	3	0
	施策の展開① 環境学習等の推進	2	2	1	1	0
	施策の展開② 調査研究・技術開発の推進、国際的な協調と協力	3	3	1	2	0
2020年度合計		87	99	55 (1)	35 (3)	9

※ 各評価区分のうち、一部 2019 年度以前の目標および実績で評価したものについては内数として括弧書きで各評価区分に計上している

4 滋賀県基本構想の指標に基づく状況把握（モニタリング）

モニタリングにあたっての考え方

- ・滋賀県基本構想の目指す姿の実現に向け、「滋賀県基本構想の指標一覧」により、県の状況について毎年度把握する。
- ・前年(または前年に把握できる最新の調査結果)と、当該年を比較し、その変化を見る。
- ・表中、「増減」欄は、2019年から2020年の変化を表している。
- ・複数年に1度実施される調査の結果を指標としている場合など、当該年に調査が行われていない(または集計中の)ものは、当該年の欄および増減欄を「-」としている。

基礎指標

		2018年	2019年	2020年	増減
1	人口(千人)	1,412	1,414	-	-
2	外国人人口(千人)	24	29	-	-
3	昼夜間人口比率(%)	96.5 (2015年)	-	-	-
4	年少人口割合(対総人口)(%)	14.0	13.8	-	-
5	生産年齢人口割合(対総人口)(%)	60.3	60.3	-	-
6	老年人口割合(対総人口)(%)	25.7	26.0	-	-
7	75歳以上人口(対総人口)(%)	12.6	13.0	-	-
8	人口増減率(%)	▲ 0.1	1.1	-	-
9	自然増減率(%)	▲ 1.3	▲ 1.6	-	-
10	社会増減率(%)	1.3	2.6	-	-
11	合計特殊出生率(%)	1.55	1.47	-	-
12	高齢夫婦のみの世帯割合(%)	9.7 (2015年)	-	-	-
13	高齢単身世帯の割合(%)	8.3 (2015年)	-	-	-
14	共働き世帯割合(%)	51.5 (2017年)	-	-	-
15	実収入(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)(円)	488,353 (2014年)	-	527,636 (2019年)	-
16	消費支出(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)(円)	298,529 (2014年)	-	265,887 (2019年)	-
17	年間収入のジニ係数(二人以上の世帯)	0.293 (2014年)	-	-	-

1 人 自分らしい未来を描ける生き方
①生涯を通じた「からだところの健康」

	2018年	2019年	2020年	増減	
18 -1	客観的健康寿命(日常生活動作が自立している期間の平均)(男性)(年)	80.28 (2017年)	80.85 (2018年)	80.78 (2019年)	▲ 0.45
18 -2	客観的健康寿命(日常生活動作が自立している期間の平均)(女性)(年)	84.26 (2017年)	84.34 (2018年)	84.39 (2019年)	+0.06
19 -1	主観的健康寿命(日常生活に制限のない期間の平均)(男性)(年)	72.30 (2016年)	-	-	-
19 -2	主観的健康寿命(日常生活に制限のない期間の平均)(女性)(年)	74.07 (2016年)	-	-	-
20 -1	平均寿命(男性)(年) ※衛生科学センター計算による	81.90 (2017年)	82.38 (2018年)	82.38 (2019年)	±0
20 -2	平均寿命(女性)(年) ※衛生科学センター計算による	87.65 (2017年)	87.62 (2018年)	87.81 (2019年)	0
21	生活習慣病受療者数(人口10万人当たり)(人)	789 (2017年)	-	-	-
22	調整済み要介護認定率(65歳以上)(%)	17.5 (2018年)	-	17.8 (2019年)	-
23	特定健康診査受診率(%)	51.0 (2016年)	52.7 (2017年)	56.7 (2018年)	+4.0
24	スポーツ行動者率(%)	71.6 (2016年)	-	-	-
25	学習・自己啓発・訓練 行動者率(%)	39.9 (2016年)	-	-	-
26	ボランティア活動行動者率(%)	33.9 (2016年)	-	-	-
27	趣味・娯楽行動者率(%)	88.5 (2016年)	-	-	-
28	交際・付き合い行動者率(一週間の平均)(%)	9.0 (2016年)	-	-	-
29	65歳以上の就業率(%)	22.5 (2015年)	-	-	-
30	75歳以上の就業率(%)	9.1 (2015年)	-	-	-
31	自殺死亡者数(人口10万人当たり)(人)	202 (2017年)	204 (2018年)	224 (2019年)	+20
32	悩みやストレスのある人の率(%)	50 (2016年)	-	51 (2019年)	-
33 -1	悩みやストレスを相談したいが誰にも相談できない人の率(%)	4.5 (2016年)	-	4.0 (2019年)	-
33 -2	悩みやストレスを相談したいがどこに相談したらよいかわからない人の率(%)	2.3 (2016年)	-	2.5 (2019年)	-
34 -1	いじめの認知件数(児童生徒1,000人当たり)(件)	44.28	50.80	-	-
34 -2	いじめの解消率(%)	80.4	84.90	-	-
35 -1	不登校児童生徒数(児童生徒1,000人当たり)(小学校)(人)	7.6	9.0	-	-
35 -2	不登校児童生徒数(児童生徒1,000人当たり)(中学校)(人)	33.7	34.3	-	-
35 -3	不登校児童生徒数(児童生徒1,000人当たり)(高校)(人)	21.7	20.4	-	-
36	医療施設に従事する医師数(人口10万人当たり)(人)	227.6	-	-	-
37	就業保健師・助産師・看護師・准看護師数(人口10万人当たり)(人)	1,205.6	-	-	-
38	介護職員数(人)(2018年、2019年は標本調査による推計値)	19,200 (2017年)	(18,579) (2018年)	(20,233) (2019年)	+1,654
39	保育所待機児童数(人)	439	459	495	+36
40	放課後児童クラブを利用できなかった児童数(待機児童数)(人)	19	122	261	+139
41	男性の家事・育児等時間(6歳未満の子どもを持つ夫婦)(分)	77 (2016年)	-	-	-
42	里親のもとや児童養護施設等において「安心して暮らすことができている」と感じている子どもの割合(%)	-	-	-	-

1 人 自分らしい未来を描ける生き方
②柔軟で多様なライフコース

		2018年	2019年	2020年	増減
43 -1	全国学力・学習状況調査の平均正答率(小学校)(%)	国 62.0 算 56.3	国 61.0 算 65.0	-	-
43 -2	全国学力・学習状況調査の平均正答率(中学校)(%)	国 71.2 数 59.4	国 70.0 数 57.0	-	-
44 -1	英検3級相当以上の生徒の割合(中学校)(%)	37.5	38.0	-	-
44 -2	英検準2級相当以上の生徒の割合(高校)(%)	36.6	41.8	-	-
45 -1	「自分には、よいところがあると思う」そう思う・どちらかといえばそう思う生徒の割合(小学校)(%)	85.2	81.5	-	-
45 -2	「自分には、よいところがあると思う」そう思う・どちらかといえばそう思う生徒の割合(中学校)(%)	75.8	71.2	-	-
46 -1	「将来の夢や目標を持っている」そう思う・どちらかといえばそう思う生徒の割合(小学校)(%)	83.9	82.5	-	-
46 -2	「将来の夢や目標を持っている」そう思う・どちらかといえばそう思う生徒の割合(中学校)(%)	67.3	66.2	-	-
47 -1	「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」そう思う・どちらかといえばそう思う生徒の割合(小学校)(%)	47.4	53.3	-	-
47 -2	「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」そう思う・どちらかといえばそう思う生徒の割合(中学校)(%)	35.1	37.5	-	-
48	正規の職員・従業員の割合(%)	56.7 (2017年)	-	-	-
49	正規の職員・従業員の仕事がないから「非正規の職員・従業員」についてた者の割合(%)	11.5 (2017年)	-	-	-
50	30歳以上の学生数(人)	1,277 (2015年)	-	-	-
51	学習・自己啓発・訓練 行動者率(%)【再掲】	39.9 (2016年)	-	-	-
52	1日の時間の使い方(休養・くつろぎ、趣味・娯楽等の3次活動の行動時間)(分)	377 (2016年)	-	-	-
53 -1	育児休業取得率(男性)(事業所規模30人以上)(%)	3.8	4.1	14.5	+10
53 -2	育児休業取得率(女性)(事業所規模30人以上)(%)	97.1	97.1	94.6	▲ 3
54	女性の就業率(25歳～44歳)(%)	71.2 (2015年)	-	-	-
55	ハローワークの紹介による障害者の就職率(%)	54.0	59.4	-	-
56	障害者の実雇用率(%)	2.23	2.28	2.29	±0
57	65歳以上の就業率(%)【再掲】	22.5 (2015年)	-	-	-
58	75歳以上の就業率(%)【再掲】	9.1 (2015年)	-	-	-
59	病気・高齢による離職率(%)	8.5 (2017年)	-	-	-
60	出産・育児による離職率(%)	5.6 (2017年)	-	-	-
61	介護・看護による離職率(%)	2.9 (2017年)	-	-	-

2 経済 未来を拓く 新たな価値を生み出す産業

		2018年	2019年	2020年	増減
62	県内総生産(実質)(百万円)	6,531,951 (2017年)	6,612,171 (2018年)	-	-
63	1人当たり県内総生産(千円)	4,624 (2017年)	4,681 (2018年)	-	-
64	1人当たり県民所得(千円)	3,349 (2017年)	3,318 (2018年)	-	-
65	1事業所当たりの付加価値額(従業者4人以上の事業所)(百万円)	1066.9 (2017年)	1072.2 (2018年)	-	-
66	従業者1人当たりの付加価値額(従業者4人以上の事業所)(百万円)	18.3 (2017年)	18.2 (2018年)	-	-
67	開業率(%)	4.7 (2017年)	4.0 (2018年)	3.7 (2019年)	▲0.3
68	廃業率(%)	3.4 (2017年)	2.9 (2018年)	2.9 (2019年)	±0
69	中小企業・小規模事業所の数	34,608 (2016年)	-	-	-
70	特許出願件数(件)	1,010	997	-	-
71	貿易額(輸出額+輸入額)(百万円)	1,295,755 (2017年)	1,351,038 (2018年)	1,235,714 (2019年)	▲115,324
72	完全失業率(%) (モデル推計値)	2.1	1.9	2.4	-
73	有効求人倍率(%)	1.38	1.31	0.86	▲0.45
74	新規求人数に対する充足率(%)	18.0 (2017年)	17.1 (2018年)	16.5 (2019年)	▲0.6
75	正規の職員・従業員の割合(%)【再掲】	56.7 (2017年)	-	-	-
76	県内大学における企業等からの派遣による学生数(社会人学生数)(人)	81	82	-	-
77	県内の電力供給量に占める再生可能エネルギー発電量の割合(%)	8.7	9.5	-	-
78	第2次産業のエネルギー生産性(エネルギー消費量当たり付加価値額)(百万円/TJ)	53.7 (2015年)	-	-	-
79	管理的職業従事者の女性比率(%)	14.7 (2015年)	-	-	-
80-1	女性労働者(率)(%)	52.1 (2017年)	-	-	-
80-2	高齢者労働者(率)(%)	24.2 (2017年)	-	-	-
80-3	障害者労働者(率)(%)	2.23	2.28	2.29	+0.01
80-4	外国人労働者数(人)	17,238	20,058	20,011	▲47
81	観光消費額(億円)	1,972	2,035	1,328	▲707
82	農業産出額(億円)	641	647	-	-
83	林業産出額(千万円)	91 (2017年)	107 (2018年)	90 (2019年)	▲17
84	琵琶湖漁業の漁獲量(t)	770	811	-	-

3 社会 未来を支える 多様な社会基盤		2018年	2019年	2020年	増減
85	道路整備率(%)	60.3 (2017年度末)	-	60.5	-
86	道路の点検率(%)	99.9	-	100.0	-
87	河川整備率(%)	55.9	56.1	-	-
88	土砂災害に関する指標(土砂災害危険箇所整備箇所数)(箇所)	554	562	567	+5
89	高速通信網のカバー率(%)	-	-	-	-
90	食料品アクセス困難人口(千人) ※店舗まで500m以上かつ自動車利用困難な65歳以上高齢者	85 (2015年)	-	-	-
91	鉄道・バス乗車人員(1日平均の乗車人員)(人)	431,112 (2017年)	437,188 (2018年)	434,805 (2019年)	▲ 2,383
92	これからも滋賀県に住みつづけたいと思う人の割合(%)	74.8	75.4	80.4	+5.0
93	地域とのつながりがあると感じている人の割合(%)	-	46.4	51.3	+4.9
94	ボランティア行動者率(地域社会とのつながりが強い町内会などの組織に加入して実施)(%)	18.6 (2016年)	-	-	-
95	刑法犯認知件数(件)	7,967	6,771	6,039	▲ 732
96 -1	交通事故による死者数(人)	39	57	49	▲ 8
96 -2	交通事故による死傷者数(人)	5,400	4,649	3,604	▲ 1,045
97	自主防災組織の活動カバー率(%)	88.2	88.8	90.8	+2.0
98	住宅の耐震化率(%)	81 (2013年)	-	86.1 (2018年)	-
99	共生社会についての意識(共生社会になっていると感じている県民の割合)(%)	-	32.9	39.9	+7
100	管理的職業従事者の女性比率(%)【再掲】	14.7 (2015年)	-	-	-
101 -1	女性労働者(率)(%)【再掲】	52.1 (2017年)	-	-	-
101 -2	高齢者労働者(率)(%)【再掲】	24.2 (2017年)	-	-	-
101 -3	障害者労働者(率)(%)【再掲】	2.23	2.28	2.29	+0.01
101 -4	外国人労働者数(人)【再掲】	17,238	20,058	20,011	▲ 47

4 環境 未来につなげる 豊かな自然の恵み		2018年	2019年	2020年	増減
102 -1	琵琶湖の水質(窒素)(mg/l)	北湖0.20 南湖0.32	北湖0.20 南湖0.26	北湖0.20 南湖0.28	北湖 ±0 南湖 +00.2
102 -2	琵琶湖の水質(りん)(mg/l)	北湖0.008 南湖0.019	北湖0.007 南湖0.016	北湖0.008 南湖0.020	北湖 +0.001 南湖 +0.004
103	琵琶湖漁業の漁獲量(t)【再掲】	770	811	-	-
104	林業産出額(千万円)【再掲】	91 (2017年)	107 (2018年)	90 (2019年)	▲ 17
105	温室効果ガス削減率(対2013年度比)(%)	▲8.7 (2016年)	▲13.5 (2017年)	▲20.7 (2018年)	▲ 7.1
106	県内の電力供給量に占める再生可能エネルギー発電量の割合(%)【再掲】	8.7	9.5	-	-
107	県民1人1日当たりごみ排出量(g)	830 (2017年)	834 (2018年)	837 (2019年)	▲ 3
108	ボランティア活動行動率(自然や環境を守るための活動)(%)	6.8 (2016年)	-	-	-